

# 令和3年度 福島市予算案の概要

(こども未来部該当部分抜粋)





# 1. 子どもたちの未来が広がる子育て・教育の新ステージの実現

◎…新規事業    ○…一部新規及び事業の拡充  
(説明欄中下線の部分)

事業名	予算額(千円)	説明	担当部
<b>1 「子育てするなら福島市」の実現</b>			
①待機児童対策推進 パッケージ			
○ 1)児童福祉施設等整備事業	36,696	将来にわたって安心して子育てできる環境を確保するため、既存の保育施設(1施設)を改築します。	こども未来
○ 2)企業主導型保育支援事業	820	新たに設置する企業主導型保育施設(1施設)の設置に係る費用の一部を補助します。	こども未来
○ 3)私立幼稚園預かり保育 支援事業	5,345	長時間の預かり保育実施にかかる専属の保育士等を雇用する私立幼稚園を支援するため、費用の一部を補助します。	こども未来
○ 4)保育アテンダント事業	5,171	保育施設等の利用を希望する保護者の相談に応える専任相談員を増員し、保護者のニーズに寄り添ったよりきめ細かなマッチングを進めます。(R2:1名 ⇒ R3:2名)	こども未来
◎ 5)幼稚園送迎ステーション 事業	18,493	受入れに余裕のある地域型保育施設と私立幼稚園の利用を促進するため、幼稚園の開園時間前後に預かり保育を行う「送迎ステーション」を設置します。	こども未来
○ 6)AIを活用した入所選考	946	認可保育施設への入所選考にAIを活用し、希望施設数の増加によるマッチングの向上を図ります。	こども未来
○ 7)保育士宿舍借り上げ 支援事業	24,750	保育士が働きやすい環境を整えるため、宿舍を借り上げる保育施設に対し、費用の一部を補助します。 (R2:19施設 ⇒ R3:22施設)	こども未来
○ 8)保育支援員雇用支援事業	42,000	保育士の業務をサポートする支援員を雇用する保育施設に対し、費用の一部を補助します。(R2:28施設 ⇒ R3:35施設)	こども未来
○ 9)UIターン保育士等就労 支援事業	2,000	県外から本市に転入して就労する保育士・幼稚園教諭に対し、就労支援金を交付します。	こども未来
○ 10)保育士等奨学資金貸付 事業	39,140	保育士や幼稚園教諭を目指す学生に対し、就学に必要な資金の一部を無利子で貸し付けます。(R2:49名 ⇒ R3:74名)	こども未来

	事業名	予算額(千円)	説明	担当部
	11)輝け！保育人財活躍促進事業	2,211	本市独自の保育人材バンクの活用や実地研修、就職相談会の開催により、潜在保育士の就労支援を図ります。	こども未来
○	12)保育士するなら福島市！プロモーション事業	3,434	新卒保育士を確保するため、保育士養成校と連携した就職相談会やオンラインでの就職セミナー、PR動画によるSNSでのプロモーション等を実施します。	こども未来
	13)保育士相談支援事業	3,005	保育士の定着・離職防止のため、保育士相談窓口を設置し、就労条件や職場環境改善へ向けた支援を行います。	こども未来
	14)保育士の働きやすい職場づくり事業	343	保育士の定着・離職防止のため、「保育職場ハッピー！大作戦チーム」を設置し、職場環境の改善・向上に取り組むほか、トップセミナー・マネジメント研修を行います。	こども未来
○	15)保育所等における事故防止推進事業	14,208	安全安心な保育を実施するため、専門職による巡回支援指導や睡眠中の事故防止機器導入、園外活動時の見守り強化に取り組みます。	こども未来
	②子ども・子育て新ステージ2020推進事業			
○	1)休日保育事業	10,008	就労形態の多様化に対応するため、休日保育を実施します。また、認可外保育施設等に在籍する児童が休日保育を利用する場合、費用の一部を補助します。	こども未来
	2)病児・緊急対応強化事業	8,700	ファミリーサポート事業(送迎・預かり)における市民ニーズに応えるため、病児・病後児や深夜・早朝、宿泊を伴う緊急預かりを実施します。	こども未来
○	3)特色ある幼児教育・保育推進事業 (未来に輝く！ふくしまっ子プロモーション事業)	18,663	豊かな発想や感性を持った子どもたちの成長を支援するため、特色ある幼児教育・保育に積極的に取り組む施設に対して、費用の一部を補助します。 また、事業のPR動画を作成し、子育て世代の定住人口拡大につなげます。	こども未来
	4)保育施設多子世帯負担軽減事業	51,773	満18歳以下の子どもが2人以上いる世帯に対し、所得に応じて第2子以降の認可保育施設の保育料を軽減します。	こども未来
	5)放課後児童クラブ多子世帯利用料補助	35,976	満18歳以下の子どもが2人以上いる世帯に対し、所得に応じて第2子以降の放課後児童クラブ利用料を軽減します。	こども未来

	事業名	予算額(千円)	説明	担当部
	6)福島型給食推進事業	338,809	子どもたちの思い出に残る給食を提供するため、学校や保育施設等における給食に本市産農産物の使用拡大を図るとともに、給食費の負担軽減を図ります。	こども未来教育委員会
	7)放課後児童クラブ支援員等処遇改善等事業	151,421	放課後児童クラブの質の向上を図るため、支援員等の処遇改善措置に対して補助します。	こども未来
	③公立保育所運営	1,169,987	公立保育所における保育のほか、延長保育や障がい児保育、一時預かりを実施します。(11か所)	こども未来
	④市立認定こども園運営	475,136	市立認定こども園における教育・保育のほか、延長保育や障がい児保育を実施します。(3園)	こども未来
	⑤私立保育所運営	4,054,123	私立保育所における保育のほか、延長保育や障がい児保育、一時預かり、病児保育(体調不良児対応型)を実施します。(34園)	こども未来
	⑥私立認定こども園運営	1,592,588	私立認定こども園における教育・保育のほか、延長保育や障がい児保育、一時預かり、病児保育(体調不良児対応型)を実施します。(12園)	こども未来
	⑦地域型保育施設運営	941,808	地域型保育施設における保育のほか、延長保育を実施します。(22園)	こども未来
	⑧市立幼稚園運営	318,549	市立幼稚園における教育のほか、預かり保育を実施します。(10園)	こども未来
	⑨幼児教育・保育無償化事業	766,684	「幼児教育・保育の無償化」により、施設等の利用に係る費用負担を軽減します。 また、無償化事務の専任職員を配置するなど、体制を強化します。	こども未来
	⑩認可外保育施設多子世帯保育料軽減事業	2,667	満18歳未満の子どもが3人以上いる世帯に対し、第3子以降の認可外保育施設利用料の一部を補助します。	こども未来
○	⑪放課後児童健全育成事業	657,873	児童の健全育成を図るため、放課後児童クラブを増設して運営します。 (R2:87クラブ ⇒ R3:91クラブ)	こども未来
○	⑫放課後児童クラブ家賃補助事業	21,778	放課後児童クラブの運営費用の負担軽減を図るため、家賃の一部を補助します。 (R2:49クラブ ⇒ R3:53クラブ)	こども未来

	事業名	予算額(千円)	説明	担当部
	⑬妊産婦支援の充実			
	1)子育て世代包括支援センター事業	12,612	妊娠届出の窓口を土日も開設し、助産師等がすべての妊婦と面接相談を実施し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行います。	こども未来
○	2)妊産婦健診事業	243,379	これまでの妊婦健診15回と産後1ヵ月健診に、新たに産後2週間健診を加え、費用を助成します。	こども未来
○	3)一般不妊治療費助成事業	3,228	対象者を拡大し、一般不妊治療(人工授精)にかかる費用の一部を助成します。	こども未来
○	4)特定不妊治療費助成事業	99,153	対象者と助成金額を拡大し、特定不妊治療(体外受精、顕微授精)にかかる費用の一部を助成します。	こども未来
◎	5)不育症検査費用助成事業	2,400	不育症の検査にかかる費用の一部を助成します。	こども未来
◎	6)産前・産後サポート事業	4,026	新型コロナウイルスの拡大により孤立化し不安を抱える妊産婦に寄り添い、安心して出産子育てができるよう、専門職を新たに配置し支援体制を強化します。 また、子育て経験者による「ホームスタート事業」を公民連携により開始します。	こども未来
○	7)産後ケア事業	4,586	心身の不調や育児不安のある産婦が安心して子育てができるよう、医療機関等によるショートステイやデイケア、アウトリーチによる支援を提供します。	こども未来
◎	8)オンライン保健指導事業	771	新型コロナウイルスの感染リスク軽減を図るため、離乳食相談会や妊婦教室等をオンラインで実施します。	こども未来
◎	9)妊婦のPCR検査支援事業	22,000	安心して出産できるよう、希望する妊婦に対してPCR検査を実施します。	こども未来
	10)こんにちは赤ちゃん事業	3,639	「こんにちは赤ちゃん応援隊」と保健師等が連携して生後4ヵ月までの乳児がいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供を行うなど、子どもの健やかな成長を支援します。	健康福祉
○	11)地域母子健康づくり推進事業	672	地域の子育て支援者等とのネットワークを活用して、育児相談会や健康教室等、栄養士による個別相談等を実施します。	健康福祉

	事業名	予算額(千円)	説明	担当部
	⑭乳幼児健康診査事業	34,922	子どもの疾病や発育発達の遅れ等を早期発見し、健やかな成長を促すため、乳幼児健診及び発達相談を実施します。	こども未来
○	⑮新生児聴覚検査事業	14,505	先天性聴覚障がいを早期に発見するため、検査費用を市が全額負担します。	こども未来
	⑯小児慢性特定疾病対策等事業	87,532	小児慢性特定疾病の医療費助成や日常生活用具の給付、自立支援事業等を実施します。	こども未来
◎	⑰小児慢性特定疾病児童世帯交通費助成事業	1,000	小児慢性特定疾病児童世帯の負担を軽減するため、県外指定医療機関への通院交通費の一部を助成します。	こども未来
	⑱子育てコーディネーター配置等事業	5,642	子育てコーディネーターを配置し、子育てに関する総合的な情報提供や相談支援を行います。	こども未来
	⑲地域子育て支援拠点事業	197,082	地域における子育て相談や子育て情報を提供するため、地域子育て支援センターを運営します。	こども未来
○	⑳子育て短期支援事業	818	病気や仕事等で一時的に子育てが困難となった場合、児童養護施設や里親等による一時預かりを実施します。	こども未来
	㉑子ども家庭総合支援拠点事業	14,861	児童虐待の発生を未然に防ぐため、子ども家庭総合支援拠点に専門職員を配置し、相談支援体制を強化します。	こども未来
◎	㉒子どもを守るセーフティネットワーク事業	3,663	支援が必要な子どもに気づき、支援機関につなぐ地域の見守りネットワークを構築し、心理専門職員による訪問相談等を実施し、子ども支援・親支援の充実を図ります。	こども未来
	㉓子ども・若者育成支援事業	8,300	地域の子どもの居場所づくり活動や、ひきこもり等の若者の社会参加を支援します。	こども未来
◎	㉔子育て関連施設感染防止対策支援事業	137,950	保育施設、幼稚園、放課後児童クラブなどの子育て関連施設において、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図りながら事業が継続できるよう支援します。	こども未来

	事業名	予算額(千円)	説明	担当部								
○	⑦松陵中学校校舎等 改築事業	126,000	<p>校舎等改築に向けた基本・実施設計等を実施します。 また、併せて、本市内初の義務教育学校の検討も進めます。</p> <table border="1" data-bbox="791 326 1337 567"> <tr> <td>全体事業費 (継続費分)</td> <td>210,000千円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>42,000千円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>126,000千円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>42,000千円</td> </tr> </table>	全体事業費 (継続費分)	210,000千円	R2	42,000千円	R3	126,000千円	R4	42,000千円	教育委員会
全体事業費 (継続費分)	210,000千円											
R2	42,000千円											
R3	126,000千円											
R4	42,000千円											
	⑧不登校児童生徒学校復帰 支援事業	10,456	不登校児童生徒の学校復帰支援や社会的自立の強化のため、指導員配置や自学中心の教室新設など、「ふれあい教室」の運営の充実を図ります。	教育委員会								
○	⑨特別支援教育推進事業	156,051	<p>肢体不自由やADHD(注意欠陥多動性障がい)、LD(学習障がい)等の児童生徒の学習を支援するため、特別支援教育協力員及び支援員を配置します。 (R2:87名 ⇒ R3:96名)</p>	こども未来 教育委員会								
○	⑩医療的ケア支援事業	6,265	<p>病弱特別支援学級に通学する児童生徒が安心して学校生活を送ることができるようにするため、看護師資格を有する支援員を増員し、医療的ケアの支援を行います。 (R2:1名 ⇒ R3:2名)</p>	教育委員会								
	⑪子どもハートサポート事業	6,482	子どもの不登校やいじめ、問題行動等にきめ細かく対応するため、県がスクールカウンセラーを配置していない小学校に相談員を配置し、学校生活をサポートします。	教育委員会								
	⑫心のケア推進事業	26,619	児童生徒の心のケアを図るため、スクールカウンセラーを配置してカウンセリングやこころの授業などを実施します。	教育委員会								
	⑬スクールソーシャル ワーカー派遣事業	10,802	子どもや保護者の心のケアの充実を図るため、関係機関との連携・調整を行うスクールソーシャルワーカー3名を配置します。	教育委員会								



	事業名	予算額(千円)	説明	担当部
	⑩放射線量マップ作成事業	11,021	本市の放射線量の推移と現在の状況を市民に伝え不安軽減を図るため、「全市放射線量測定マップ」を作成し公表します。	環境
	⑪農産物・食品等放射能測定事業	55,446	市内11カ所の測定所において、食品等の放射能測定を引き続き実施します。	環境
	⑫一般健康診査対象者拡大事業	1,818	市民の健康不安を解消するため、県で実施する検診に市独自の検査項目を追加します。	健康福祉
	⑬放射線健康管理事業	89,801	放射線による健康不安の軽減と、正しい知識の普及啓発を図るため、内部・外部被ばく検査の実施や出前講座、相談等を行います。	健康福祉
	⑭給食まるごと検査事業	52,045	安全安心な給食の提供のため、保育施設や学校で使用する食材のモニタリング検査を実施し、速やかに公表します。	こども未来 教育委員会
	⑮防災・放射線教育推進事業	122	児童生徒一人ひとりが正しい知識を持ち、主体的に判断し行動することができる力を育むため、放射線教育を含めた防災教育を実施します。	教育委員会

## 2 風評払拭に向けた取り組みの推進

	①風評対策(農業)	10,362	本市農産物の安全性を発信し、風評払拭を図るため、福島ユナイテッドFCと連携したPR等を実施します。	農政
○	②福島駅前軽トラ市開催事業	6,000	本市農産物の風評払拭と中心市街地の活性化を図るため、福島駅前での軽トラ市を定期的に開催します。	農政
	③果実等プロモーション事業	3,031	本市くだものを全国に向けてPRし、産地としてのさらなる知名度アップと消費拡大を図るため、重点消費地や交流都市へのトップセールス等を積極的に行います。	農政

事業名	予算額(千円)	説明	担当部						
④東北六市連携事業	12,897	「東北絆まつり2021山形」へ参加するとともに、東北六市共同で首都圏等での観光プロモーション事業を実施し、本市の力強い復興を国内外へ発信します。	商工観光						
⑤わらじまつりPR隊活動事業	750	東京オリンピック(野球・ソフトボール)の福島市開催時に大わらじ、金わらじの展示を行うとともに、わらじまつりPR隊により元気なふくしまを国内外へ広く発信します。	商工観光						
⑥風評対策(観光)	4,039	首都圏等で物産展を開催するほか、イベントへ積極的に参加し、本市の観光・物産を官民一体となって粘り強くPRすることで、風評払拭を図ります。	商工観光						
⑦春の花見山おもてなし事業	60,213	花見山来訪者のおもてなしのため、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、シャトルバスの運行や出店環境の整備等を実施します。	商工観光						
◎ ⑧地域産業を活用した観光コンテンツ開発事業	15,000	本市の現状と本市製品の安全性を周知するため、地域産業を活用した新しい観光コンテンツの開発により事業の多角化に取り組む実行委員会等の活動費用の一部を補助します。	商工観光						
○ ⑨地域振興施設「(仮称)道の駅ふくしま」整備事業費	689,197	福島大笹生ICに隣接する「道の駅」を整備します。また、敷地内に屋内こども遊び場を整備することにより、「道の駅」の魅力を高めます。 R3は、 <u>外構・建築工事を完了</u> させるとともに、 <u>R4春の開業に向けた準備を進めます</u> 。	商工観光 こども未来						
		<table border="1"> <tr> <td>全体事業費 (継続費分)</td> <td>871,400千円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>435,700千円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>435,700千円</td> </tr> </table>	全体事業費 (継続費分)	871,400千円	R2	435,700千円	R3	435,700千円	
全体事業費 (継続費分)	871,400千円								
R2	435,700千円								
R3	435,700千円								
⑩震災復興パネル展開催事業	8,500	これまで国内外からいただいた支援に対する感謝や復興の軌跡、新たなまちづくりの方向性などを発信するため、街なか交流館(旧中合福島店2階)において、展示内容を一部入れ替えながら震災復興パネル展を開催します。	政策調整						
◎ ⑪第73回日米学生会議開催費補助金	500	日米両国の学生活動を支援することで関係人口や交流人口の拡大を図るとともに、学生を通じて本市の復興の状況や新たなまちづくりに取り組む姿を発信し、風評払拭と都市ブランド力の向上を図るため、国際学生会議「第73回日米学生会議」の開催費用の一部を補助します。	政策調整						

	事業名	予算額(千円)	説明	担当部
	6)手話言語条例関連事業	2,405	聴覚障がい者の意思疎通のバリア解消に寄与し、聴覚障がいに対する理解と手話の普及を推進するため、手話出前講座の開催や、手話奉仕員養成講座等を実施します。	健康福祉
○	7)歩道点字シート設置事業	39,500	特定道路重点整備地区のうち、 <u>パセオ通りと県庁通り</u> の点字シートを整備します。	建設
◎	8)バリアフリーマップ情報更新事業	3,000	誰もが安全で快適に移動できる環境を形成するため、バリアフリー化された施設の情報をわかりやすく提供するバリアフリーマップを更新します。	都市政策
	⑫障がい福祉サービス	4,422,309	障がい者の自立をはじめ、日常生活や社会参加の支援を行うため、居宅介護や生活介護、就労支援等の事業を実施します。	健康福祉
	⑬自立支援医療	283,014	障がい児・者の障がいの改善や機能を維持するため、医療費の全額又は一部を助成します。	健康福祉
	⑭地域生活支援拠点等整備事業	11,215	障がい者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、障がい者のご家族を地域全体で支える体制を整備します。	健康福祉
	⑮こども発達支援センター事業	65,113	発達障がい児やその心配がある児童に対する発達相談や、肢体不自由児等に対する生活訓練や機能訓練を行います。 また、利用者の利便性向上と安全確保のため、駐車場を整備します。	こども未来
○	⑯動物愛護管理事業	16,548	猫の殺処分減少や動物と共生できるまちづくりを目指すため、野良猫の不妊・去勢手術費用の一部を助成するとともに、捕獲技術講習会を開催する等、市民活動を支援します。 (不妊:上限8,000円、去勢:上限4,000円)	健康福祉

## 5 多文化共生の推進

	①国際交流員の配置	5,162	外国人の視点を取り入れた事業の企画・運営や国際交流活動を通じた国際化の推進を図るため、外国青年を国際交流員として配置します。	市民・文化スポーツ
	②国際交流事業	2,000	協会加盟団体等のネットワークを活用した国際交流活動を推進するため、市国際交流協会が実施する国際交流や多文化共生を推進するイベント等を支援します。	市民・文化スポーツ

	事業名	予算額(千円)	説明	担当部
<b>3 就労支援と雇用の創出</b>				
○	①働く女性応援事業	3,775	女性が活躍できる職場づくりや、仕事と家庭の両立に対する支援を積極的に行う企業を市独自の基準で認証し、広く公表します。また、結婚や出産等で退職した女性の再就職を支援するため、女性向け合同企業説明会を実施するとともに、 <u>就労を希望する移住・転入女性と企業とのマッチング</u> を行います。	商工観光
○	②若年者就職支援事業	6,215	高校生を対象とした就職支援事業や、新規学卒者を対象とした合同企業説明会を開催します。 また、 <u>新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う新しい生活様式に対応したオンライン合同企業説明会</u> を開催します。	商工観光
	③雇用安定対策事業	3,349	障がい者雇用に対する意識向上を図り、誰もが働きやすい職場環境を整備するため、障がい者雇用を積極的に進める中小企業を認証するとともに、女性や若者、障がい者雇用に関するセミナーを実施します。	商工観光
◎	④就労準備支援事業	435	直ちに就労が困難な方の自立を支援するため、一般就労へ向けた基礎的能力を養う支援を行います。	健康福祉
	⑤輝け！保育人材活躍促進事業【再掲】	2,211	本市独自の保育人材バンクの活用や実地研修、就職相談会の開催により、潜在保育士の就労支援を図ります。	こども未来
○	⑥保育士するなら福島市！プロモーション事業【再掲】	3,434	新卒保育士を確保するため、保育士養成校と連携した就職相談会や <u>オンラインでの就職セミナー</u> 、PR動画によるSNSでのプロモーション等を実施します。	こども未来

	事業名	予算額(千円)	説明	担当部
◎	⑧「ゆとり満喫福島オフィス」 開設支援事業【再掲】	14,800	首都圏等からの本社オフィス移転や移住・定住を促進するため、オフィス開設等に係る経費の一部を補助するとともに、温泉、農業、果物が満喫できる「ゆとり満喫エールパスポート」を贈呈するほか、立地ビジネスサロンの開催やゆとり満喫動画を制作します。	商工観光
<b>2 「子育てするなら福島市」の実現【再掲】</b>				
○	①保育士宿舎借り上げ支援 事業【再掲】	24,750	保育士が働きやすい環境を整えるため、宿舎を借り上げる保育施設に対し、費用の一部を補助します。 (R2:19施設 ⇒ R3:22施設)	こども未来
	②UIターン保育士等就労 支援事業【再掲】	2,000	県外から本市に転入して就労する保育士・幼稚園教諭に対し、就労支援金を交付します。	こども未来
○	③特色ある幼児教育・保育 推進事業 (未来に輝く！ふくしまっ子 プロモーション事業) 【再掲】	18,663	豊かな発想や感性を持った子どもたちの成長を支援するため、特色ある幼児教育・保育に積極的に取り組む施設に対して、費用の一部を補助します。 また、事業のPR動画を作成し、子育て世代の定住人口拡大につなげます。	こども未来
	④結婚新生活支援【再掲】			
	1) 出会いの場創出事業	2,759	結婚に対する意識の向上を図り、将来的な定住促進・人口増加につなげるため、独身男女に対する出会いの場の提供や、出会い・結婚相談事業等を実施します。	市民・文化 スポーツ
◎	2) 結婚新生活支援事業	43,650	結婚に伴う新生活のスタートアップを支援するため、新婚世帯の住宅の取得や貸借費用(敷金・礼金・家賃等)及び引越費用等の一部を補助します。	市民・文化 スポーツ

	事業名	予算額(千円)	説明	担当部
	④女性相談事業	5,217	配偶者等からの暴力や離婚、生活の悩みについて等、女性からの相談に対応するため、専門の女性相談員を配置します。	こども未来
	⑤ひとり親家庭自立支援事業	10,967	ひとり親家庭の自立促進と生活安定を図るため、資格取得費用等の一部を助成します。	こども未来
	⑥女性教育事業	2,885	人間性の涵養と地域連帯意識の醸成等を図るため、主体的に想像力と実践力を育む女性学級を各地区で開催するとともに、女性リーダーを育成するための研修会等を実施します。	教育委員会

### 3 人生100年時代に対応した高齢者の元気づくり【再掲】

○	①高齢者生涯活躍プロジェクト事業【再掲】	1,160	元気な高齢者が能力や経験を活かすことができる「生涯現役社会」実現のため、 <u>高齢者・企業への雇用に関するニーズ調査や研修会・講演会等の開催、介護現場での就業体験等</u> を実施します。	健康福祉
	②権利擁護支援事業【再掲】	18,461	認知症や知的障がいなどにより日常生活に支障がある人々を社会全体で支え合うため、権利擁護支援の地域連携ネットワークを構築し、その中核となる機関に「福島市権利擁護センター」を位置付けます。 また、広報や相談、市民後見人の養成や受任調整等を実施し、成年後見制度の利用促進に取り組みます。	健康福祉
○	③後期高齢者保健事業【再掲】	4,536	75歳以上高齢者の健康寿命の延伸と介護予防のため、フレイル予防運動教室や、検診データ等を活用した保健指導等を実施します。 また、 <u>継続的な栄養面での個別支援を行うため、管理栄養士を配置</u> します。	健康福祉
	④いきいきももりん体操・お口のももりん体操【再掲】	3,318	高齢者の通いの場を創出し、フレイル予防により元気に過ごせるよう、いきいきももりん体操・お口のももりん体操取組団体の立ち上げや継続を支援します。 また、地域全体で住民が自主的に健康づくりに取り組めるよう、いきいきももりん体操伝道師を養成します。	介護特会
	⑤高齢者元気アップ事業関連【再掲】	2,203	高齢者の生きがいづくりや健康増進、積極的な社会参加を促すため、シニア世代を対象にした教養、健康、ICT等をテーマにした講座を実施します。	教育委員会

	事業名	予算額(千円)	説明	担当部
◎	⑪放課後児童クラブICT推進事業	46,000	保護者の利便性向上及び職員の負担軽減、新しい生活様式に対応するため、保護者との連絡や児童の入退室情報などを一元管理できる「業務支援システム」を導入します。	こども未来
◎	⑫地域子育て支援拠点ICT推進事業	11,500	利用者の利便性向上及び新しい生活様式に対応するため、オンライン相談支援や利用者情報の一元管理ができる「業務支援システム」を導入します。	こども未来
◎	⑬保育施設・幼稚園ICT推進事業	26,770	保護者の利便性向上及び職員の負担軽減、新しい生活様式に対応するため、保護者との連絡や登降園情報などを一元管理できる「業務支援システム」を運用します。	こども未来
◎	⑭オンライン保健指導事業【再掲】	771	新型コロナウイルスの感染リスク軽減を図るため、離乳食相談会や妊婦教室等をオンラインで実施します。	こども未来
◎	⑮シェアサイクル管理運営事業	9,801	新型コロナウイルスの感染リスク軽減を図るため、スマートフォンアプリを活用した無人窓口化、キャッシュレス決済システムを導入したシェアサイクルの社会実験を実施します。	都市政策
◎	⑯学習センターオンライン環境整備事業	1,200	新しい生活様式を見据えたオンライン学習などの事業展開を図るため、インターネット活用ができる環境を整備します。	教育委員会
◎	⑰福島エール川柳事業【再掲】	560	川柳を通じて学びを深め、世代間交流を図るため、リモート配信を活用した市民学校を開催します。	教育委員会